

11503鉄道車両・同部分品製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	7 8	事業所構内の駐車場から通用口に至る通路で出勤のため歩行しているとき、路面が凍結していたため、滑って転倒し、右踵を骨折した。	65	2	719	300 ～ 499 人
2	2018	4	11 12	電線処理係職場で自動チューブ切断機を使用して収縮チューブ切断中、機械出口にチューブが詰まり、電源を切らずに刃物の付近のチューブを取り除こうと手を出した際、作業中の刃で負傷した。	39	7	169	100 ～ 299 人
3	2018	4	13 14	クロゼット折れ扉加工ライン工程にて、刃物交換を行うため、操作盤にて自動運転から手動運転に切り替え、設備停止を行い、安全カバーを開けて、親刃は既に回転停止、毛引き刃は惰性回転していることを現認をしていた。にもかかわらず、親刃に手を掛け、まだ惰性回転していた毛引き刃に、右手第二指、第三指を巻き込まれた。	21	8	139	100 ～ 299 人
4	2018	6	9 10	作業場で、鉄道車両部品のビスをラチェットレンチ（15cm）を使用し、しゃがんだ姿勢で取り外していたところ（高さ30cm）、腰に負担が掛かり、立ち上がるときに痛みで動けなくなった。	40	19	921	30 ～ 49 人
5	2018	6	13 14	切断機を使って、長さ2mの塩ビ板をカットしていたところ、カット位置を調整する際に誤ってフットスイッチを踏み、切断機の刃が下りて右中指を切断した。	63	7	156	10 ～ 29

									人
6	2018	7	16 ～ 17	鉄道車両のクーラー艀装作業を車両の屋根上、廊下、室内で行っていた際、作業場の環境が高温になっており、手に力が入らず、頭痛もひどく、熱中症となった。	31	11	715		100 ～ 299 人
7	2018	7	2 ～ 3	コンテナを持って構内歩行通路上を歩いて運搬していたところ、足を躓いてバランスを崩し、フェンスに衝突し、網フェンスの扉付近に転倒した。	36	2	417		100 ～ 299 人
8	2018	8	13 ～ 14	梱包のラップをカッターで切っているときに、左人差し指（第一関節辺り）を切った。	37	8	379		10 ～ 29 人
9	2018	9	14 ～ 15	電気機関車室内の塗装吹付が完了したので、先頭側室内の状況を確認するため歩いて移動中、床面の塗料飛散防止のクラフト紙で覆われていた開口部（約40cm×30cm）に気付かず、踏み抜いて開口部の淵に左膝内側をぶつけた。	44	3	414		1～ 9人
10	2018	9	14 ～ 15	電気機関車室内の塗装吹付が完了したので、先頭側室内の状況を確認するため歩いて移動中、床面の塗料飛散防止のクラフト紙で覆われていた開口部（約40cm×30cm）に気付かず、踏み抜いて開口部の淵に左膝内側をぶつけた。	44	3	414		1～ 9人
11	2018	9	14 ～ 15	電気機関車室内の塗装吹付が完了したので、先頭側室内の状況を確認するため歩いて移動中、床面の塗料飛散防止のクラフト紙で覆われていた開口部（約40cm×30cm）に気付かず、踏み抜いて開口部の淵に左膝内側をぶつけた。	44	3	414		1～ 9人
12	2018	9	14 ～	電気機関車室内の塗装吹付が完了したので、先頭側室内の状況を確認するため歩いて移動中、床面の塗料飛散防止のクラフト紙で覆われていた開口部（約40cm×30cm）に気付かず、踏み抜いて開口部	44	3	414		1～ 9人

			15	の淵に左膝内側をぶつけた。				
13	2018	10	8 ～ 9	工場天井の蛍光灯を交換するため、はしごを立て掛けようとしたところ、背中に激痛がはしり動けなくなった。	40	19	371	100 ～ 299 人
14	2018	10	15 ～ 16	車輪検修場で電車の車輪を削正したあと、発生した切粉を棒状の治具を用いて除去していた。その際、切粉が右手に接触し、右手人差し指と中指に切創を負った。	59	8	521	100 ～ 299 人
15	2018	10	17 ～ 18	駅構内で清掃作業を終え、のどが渇いたため2階メンテナンス詰所から1階自動販売機までジュースを買いに行った。その際、上着ポケットにある小銭を両手で探しながら階段を下りていたところ、右足を踏み外して足首を捻挫した。	43	1	413	50 ～ 99 人
16	2018	10	17 ～ 18	勤務終了後、バイクで勤務先敷地内を走行中、Uターンする際に転倒して負傷した。	59	17	231	500 ～ 999 人
17	2018	11	8 ～ 9	サービスデッキ上から車両に乗り込む際、左足を踏み出したときに膝を負傷した。	57	19	921	100 ～ 299 人
18	2018	11	15 ～ 16	天井クレーン仮組立後の解体作業中、主桁の取り卸しを行うため、主桁へ玉掛けしたあと、吊り位置等を確認するため、高さ1.76mのステージングに上がった。ステージング上で確認作業中にバランスを崩し、飛び下りた際にステージング基礎部分に接触して右脛を骨折した。	44	1	418	50 ～ 99 人
				治具をセットし、溶接機でアークを出そうと溶加棒を溶接機先端に				

19	2018	11	15	近づけたとき、溶加棒がタングステンに接触してスイッチが入り、	22	13	332	1～
			16	アークが出る前に高電圧が溶加棒に流れた。その際、左手で持って				9人
				いた溶加棒を通じて高電圧が左手に流れて感電し、左手人差し指と				
				中指を負傷した。				

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。